

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

<b>事業名</b>	経済協力案件の選定・実施・完了後の諸調整等経費		<b>担当部局庁</b>	国際協力局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	-		<b>担当課室</b>	事業管理室		室長 遠藤彰		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	VI-1 経済協力				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	外務省設置法第二章第四条第1項ハ		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	経済協力案件の選定・実施・完了後の諸調整等を目的とした出張旅費							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	(イ)技術協力に関する案件選定や制度整備に係る事業実施機関との協議 (ロ)被援助国政府機関と技術協力事業に関する重点分野、協力プログラム協議を踏まえた候補案件の選定、援助実施に必要な約束の交渉及び締結作業等の実施							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	8	6	5	8	9	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
	計	8	6	5	8			
	執行額	1	3	2				
執行率(%)	15.70%	49.54%	44.49%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	事業実施機関と国内外における協議・調整を通じ、適正な案件の実施・調整の確保を図る。 (参考として右欄に、技術協力(技術協力プロジェクト、個別専門家、個別研修・機材供与)に係る採択件数と要請案件数を記す。)		成果実績 要請数(採択数)	823 (460)	820 (445)	676 (306) (暫定値)	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	出張件数		活動実績 (当初見込み) 出張件数	13 (14)	19 (17)	22 (17)	- (18)	
<b>単位当たりコスト</b>	0.1(百万円/件)		算出根拠	出張案件の平均(本件に係る旅費の総額÷総件数)				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	職員旅費(国内)	0.6	0.6					
	職員旅費(外国)	3	3					
	有識者旅費	1	0.9					
	会議費、雑費	3	4					
	計	8	9					

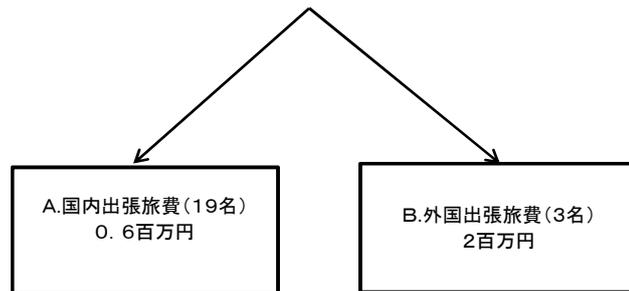
事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	経済協力に関する案件選定や制度整備に係る事業実施機関との諸調整は国の実施すべき事業である。これらは、効果的、効率的な協力を行う上で必須かつ重要であり、節約努力を含め適正な資金の運用管理を行うよう努めている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	出張期間が適当か、経路は合理的且つ経済的か等、節約措置を図った上で、計画的な執行を行うよう努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業実施機関や被援助国政府機関との協議調整を着実に実施している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本件にかかる経費は経済協力を適切に推進していく上で基盤となるものであり、支出先についても各案件ごとに見積もり合わせを行い、競争性を確保した業者選定を行っている。また、出張期間は適当であるか、同行者は必要か、経路は経済的かつ合理的か等の観点から、節約措置を十分行った上で執行している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	593	平成23年行政事業レビュー	575

個別事業名：

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位：百万円)

外務省  
2百万円

技術協力案件の選定・実施・完了後の諸調整等経費(本





個別事業名:

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	旅費	0.1	-	-
2	出張者B	旅費	0.1	-	-
3	出張者C	旅費	0.04	-	-
4	出張者D	旅費	0.04	-	-
5	出張者E	旅費	0.04	-	-
6	出張者F	旅費	0.03	-	-
7	出張者G	旅費	0.03	-	-
8	出張者H	旅費	0.03	-	-
9	出張者I	旅費	0.03	-	-
10	出張者J	旅費	0.03	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	旅費	0.8	-	-
2	出張者B	旅費	0.4	-	-
3	出張者C	旅費	0.4	-	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					